秦小学校　地域説明会　記録

日　　時	令和５年 11 月 12 日（日）10:00～11:20	場　所	秦小学校体育館

（内容）

発言者	発言内容
市職員	１　開会 ２　挨拶（教育次長） ３　長井小・秦小の統合について 本日配布させていただきましたＡ４横書きの「学校の統廃合について」の資料に基づいて「秦小学校と長井小学校の統合（長井小学校と秦小学校の統合）」について説明させていただきます。この資料は、以前の説明会などでも使用している部分がありますが、今回初めて見る方もいらっしゃると思いますので、改めて御説明いたします。 それでは、資料の１ページをお願いします。 全国的な少子化の進行により、児童・生徒数が減少していますが、熊谷市でも、ほぼ全ての学校で児童・生徒数が減少し、学校の小規模化が進んでいる状況です。この傾向は、今後も続くことが見込まれています。 小規模の学校では、 ・児童・生徒相互の人間関係が深まりやすい。 ・児童・生徒に目が届きやすい。 などのメリットがある一方で、 ・集団の中で、多様な考え方に触れる機会や学び合いの機会、切磋琢磨する機会が少なくなる。 ・人間関係や相互の評価が固定されやすい。 などの課題も懸念されています。 こうした状況について、国からも市町村ごとに、「少子化に対応した、活力ある学校づくり」について、継続的に検討・実施していくことが求められました。 そこで、熊谷市では、子どもたちによりよい教育環境を用意することで、バランスの良い確かな学力を身に付けてもらうことを目指して、「学校規模の適正化」に取り組むこととし、平成３０年１１月に策定した「熊谷市立学校の適正な規模に関する基本方針」の中で、規模の適正化を図るため「学校の統廃合」を進めていく方針を示しています。 右の表を御覧ください。 基本方針では、「学校規模の基準」として、小学校ではクラス替えが可能な１

	学年２学級以上が望ましいこととして、 ・「学校統廃合等の基準」を「複式学級」が見込まれる場合は直ちに検討する。 ・「全学年で単学級」となることが見込まれる場合は、児童数の動向に注視しつつ検討する。 としています。 長井小学校・秦小学校では、統合予定の令和９年４月時点において「ほぼ全ての学年で単学級」となることが見込まれていますので、統合に向けた検討を進めようとするものです。 ２ページをお願いします。 左の表に統廃合の案を記載していますが、一番上の成田小と星宮小については、「熊谷市立成田星宮小学校」として今年の４月から新たに開校し、これまで順調に運営されていると聞いています。 男沼小・太田小・妻沼南小、３校の統合については、「熊谷市立妻沼西小学校」と校名が決定し、２０２５年、令和７年４月の開校に向けて準備を進めています。 このほか、小学校では長井小と秦小の統合計画案を含めて７地域、中学校では６地域の統合計画案を検討しています。 統廃合の内容ですが、右側のとおり、統合に当たっては、規模や経過年数にかかわらず、対等な関係での統合とし、新たな学校として設置することとしています。 設置場所は、既存の学校施設を活用し、校地面積や校舎の状況などを勘案して決定します。通学方法は、元の学区に小学校がなくなる地域については、原則スクールバスの利用を想定し、中学校については、自転車通学を想定しています。 また、統合は新たな学校として設置することになるため、学校名なども新しいものになります。学校名も含め、校歌や校章など、具体的なことについては、新校設立準備委員会を立ち上げ、学校や保護者、地域の皆さんとともに協議・検討を重ねて決めていく予定です。 ただし、ここに記載されている統合計画はあくまでも「案」ですので、実際に統廃合するかどうかについては、今後の児童・生徒数の推移に注視しつつ、個別に判断をしていくことになると考えています。 ３ページをお願いします。 長井小学校と秦小学校の統合方針の案ですが、２０２７年度、令和９年度に２校を対等な関係で統合し、設置場所は、児童数が多く、敷地や校舎の面積が広い、長井小学校の場所を想定しています。 続いて、右側に記載してある適正化のメリットですが、 ・児童生徒を多様な考え方に触れさせることにより、集団の中でルールを学

	び、社会性を高めるとともに、より自らの個性や学力、体力を伸ばすことができる。 ・新たな人間関係を構築する力を身につけさせることができるとともに、人間関係の固定化を回避できる。 ・児童・生徒同士の人間関係や教員との人間関係に配慮した学級編成ができる。 など、学習生活面のメリットのほか、 ・経験、教科、特性などの面でバランスの取れた教員の配置を行うことができる。 ・ＰＴＡ活動等における保護者一人一人の負担が軽減できる。 など、学校運営の面でもメリットもあります。 今後、統合に向けた検討を進めていく段階において、様々な課題が生じることも想定されますが、そうした課題が解消された上での統合となるよう、丁寧に進めてまいります。 ４ページをお願いします。 上のグラフは、熊谷市立小中学校の児童・生徒数の推移と将来推計となっています。冒頭に説明いたしましたが、長井小と秦小についても、児童数は減少していく見込みです。 ５ページをお願いします。 上のグラフは令和５年５月１日現在の、住民基本台帳人口を基にした令和５年度から１１年度までの児童数の見込みです。 それぞれ、左から長井小学校、秦小学校の順に並んでいますが、左側の長井小学校を見ますと、令和５年度以降、年々減少する見込みであり、また、秦小学校でも、減少率は緩やかですが減少していく見込みとなっています。 また、下の表は、現在の児童数と統合予定の令和９年度の児童数の見込みです。 現在、長井小では１年生と５年生が単学級となっていますが、令和９年度は６年生のみ２学級で、５年生以下の学年は全て単学級となる見込みです。また、秦小学校では現在も既に全学年で単学級ですが、令和９年度には更に児童数が減少した上で、全学年、単学級のままの見込みです。 ４ページの市全体の人口減少率に基づき推計した児童数と比較して、５ページの住民基本台帳人口を基にした児童数見込みは、２０２５年度で比較しますと、更に２割程度減少する見込みとなっています。 ６ページをお願いします。 こちらでは、現在までに統廃合を進めてまいりました各学校の紹介をしています。統合時期、学校の位置、校名などは、記載のとおりです。 通学方法については、従来の学区内に小学校がなくなる地域の児童を対象と

	してスクールバス通学とする予定です。既に統合された成田星宮小では、旧星宮小地域の児童がスクールバスによる登校を開始しています。 　また、現在統合準備を進めている男沼小・太田小・妻沼南小の例では、男沼小と太田小の児童がスクールバス通学となる予定です。成田星宮小では４か所の乗降場所を設定し、２台のバスにより通学をしています。男沼小・太田小・妻沼南小のスクールバスの運行内容は、現在検討を進めているところです。 　表はそれぞれの統合時における児童数、児童数見込みとなっています。 　一番下に記載されているように、統合の１年前には、校名や通学方法、学用品など、様々なことを決めていく必要があります。 　次の７・８ページは、これまでの統合計画に際し、比較的多く寄せられた御質問に対する回答例を記載しておりますので、御確認ください。 　なお、本日の説明会に先立って４点の御質問が寄せられています。 　あらかじめ各担当課に回答を作成いただきましたので、御質問の内容とその回答について読み上げます。 　１点目は、放課後子供教室の活動方法は、統合前の地区ごとの活動となるのか、それとも統合した区域全体での活動となるのか、という御質問です。 　担当課からは、基本的に１つの小学校区では１団体の活動が対象となりますが、統合前の地区ごとで引き続き活動を継続することも可能であり、その場合でも、それぞれの地区にこれまでどおりの活動費が継続して交付されますとの回答がありました。なお、統合前の地区ごとで活動を継続するのか、統合後の地区全体で活動をしていくのかについては、各地区での御検討をお願いしますとのことです。 　２点目は、統合した後も、秦小学校の校庭や体育館を使用することができるのか、という御質問です。 　担当課からは、校庭や体育館などの統合後の活用方法は、今後、地域の代表者からなる「跡地等利活用検討委員会」を設置し、地域の方々の声を伺いながら、具体的な内容を検討することになりますが、既に定まっている各種行政計画との整合性にも十分留意しながら検討を進めていく予定ですとの回答がありました。 　参考までに、旧星宮小学校では、跡地利活用の方法が正式に決定するまでの間は、閉校前まで利用していた団体などに、引き続き校庭や体育館を利用していただいています。 　３点目は、校区連絡会は、統合後どうなるのか、という御質問です。 　担当課からは、成田星宮小学校では、統合前の小学校区単位でそれぞれが活動を継続していますので、長井小学校区連絡会と秦小学校区連絡協議会の統合

	後の在り方については、統合前にそれぞれの御意向を確認させていただきたい、との回答がありました。その上で、校区連絡会を統合するかしないかについては、それぞれの校区連絡会において御検討をお願いしますとのことです。 ４点目は、学校名、校歌はどうなるのか、という御質問です。 これについては、先ほども御説明しましたが、統合に当たって決めていく必要があるものについては、統合に向けた準備を進める中で、保護者や地域の方々、学校の先生方と協議・検討を行い決めていくことになると考えています。 資料の説明と事前に頂いた御質問への回答は以上となります。 なお、統合に向けた準備には相応の期間が必要となります。皆様からの御意見・御質問などを踏まえた上で、今年度中には、統合に関する市としての結論を出し、新校設立に向けた準備を進めていければと考えています。 統合に向けた準備を進めることとなった場合は、新校設立に向けた準備委員会を立ち上げ、検討する内容ごとの部会も設置して、十分な時間をかけて新校設立に向けた準備を進めさせていただくことになります。 具体的に協議・検討していく内容などについてですが、準備委員会では、統合に向けて調整が必要な事項全般を協議し、その結果を市に報告していただく予定です。 検討部会としては、学校運営部会、通学部会、ＰＴＡ部会などの設置を考えています。学校運営部会では、校名、校歌、校章、体育着などの学用品について、通学部会ではスクールバスなど通学方法について、ＰＴＡ部会ではＰＴＡ組織やその運営などについて協議していただく予定です。 準備委員会や検討部会の委員には、先生のほか、ＰＴＡなどの保護者や地域の皆様に委員として御協力していただきたいと考えています。 私からの説明は以上となります。御清聴ありがとうございました。 ４　質疑・応答
市民	来年から娘が入学するが、スクールバスについてどういう方向で行くのか聞きたい。近年、幼稚園や保育園などで閉じ込められたなど痛ましい事故が起きている。 運転手は教師か、バス会社の者かどうか。また、事故対策について聞きたい。
市職員	スクールバスについては、民間のバス会社に委託する予定です。成田星宮小学校で運行しているスクールバスは、各児童にＩＣカードを配布し、乗降時にタッチすることで確実に乗車しているのか、降車しているのかをバスの運転手が確認できるようにしています。学校で乗降する際には、学校の先生に御協力いただいて乗降確認をします。

市民	以前の市議会で南側体育館の建て替えで議員や市長が「子供が少なくなったから仕方ない。」という話をしていた。そういった話が出るような市であってほしくない。 本日も議員が来ているようだが、妻沼選出の議員で、今回の児童クラブの統合と妻沼南小・太田小・男沼小の統合に賛成した議員もいた。せめて棄権してほしかった。 体育館について聞くが、夜間利用する人には何時までに退出してほしいとか、駐車場では夜間静かにして退出してほしいとか、利用方法の周知を市や小学校はしているのか？ くまぴあのように指定管理者を置いて管理すると、地元にゆかりのない団体が利用したり、色々と特定の考えがある団体にも利用されたりしてしまう場合がある。利活用する場合には、市が公平中立の立場で管理してほしい。
市職員	統合後の体育館の利用方法については、跡地等利活用検討委員会を立ち上げ、皆さんの意見を伺いながら利活用方針を検討していく予定です。指定管理者の導入可能性もありますが、指定管理者になったとしても偏った利用とは必ずしもならないと考えます。 体育館の利用について、学校開放は夜の９時までの利用としています。夜間の利用の仕方については、学校を通じて団体にお願いしていますが、教育委員会に相談があった場合には、教育委員会からも説明をしています。
市民	資料を見て、統廃合は子供のために行うと書かれている。実際、秦小学校が１クラスとなったのは今に始まったことではない。裏には経費の削減というのがあると思うが資料には一切出てこない。その辺の資料は持っているか？ もう一点、小林市長はこの説明会は知っているのか？
市職員	学校の統廃合は、平成３０年１１月に基本方針を決定し動き出したものです。学校のコストというお話もありましたが、学校以外の施設についてはコストや利用状況に基づいて施設再編を考えていくということもありますが、学校は子供の教育環境を整えるということを前提としており、コスト面での統廃合ということはございません。 小林市長には説明会開催の事前説明を行っています。
市民	集団の中でという話があったが、小学校では単学級であっても中学校から大学になっていくうちに人数も増えていく。中学でも部活動に所属しないでクラブに入る子どもが多い中でその点はどう考えているのか？ 児童数の見込みで令和９年度は、統合したところで単学級が多くなってしまうのではないかなという点があるが、その点はどう考えるのか？
市職員	小学校の段階で小規模でいいということではなく、早い段階から適正な規模

	で学んでいただくことにより、お子さんの持っている能力を伸ばせるのではないかということで統廃合を進めていければと考えています。 　統合後も単学級の学年が出てしまいますが、人数が増えることにより、クラスの中で切磋琢磨できる環境ができるのではないかと考えます。 　また、学級編成は、リスク回避という側面があります。集団生活を営む中でいじめなどいいことだけではないケースもあります。複数学級があることで、違うクラスにしてほしいという要望に応えることができます。 　部活動については、地域移行の流れが動き出しています。不透明な部分もありますが、熊谷についても１つ移行を試そうとしています。時間がたてば細かい部分を市民の方にお伝えできると思いますのでよろしくお願いいたします。
市民	再来年度の４月から子供が入学するが、最初から長井小学校に入学することはできるか？また、中条小学校などの近い学校に入学できるのか？
市職員	学区に関してはお住いの住所で学校を指定していますので、秦小学校区の方は原則秦小学校に入学していただくことになります。統廃合を見込んで長井小学校に入学することは原則できませんが、指定校変更をせざるを得ない事情がある場合は学校教育課に相談してください。
市民	統合していじめなどの問題が出てくると考えられるが、対策は考えているのか？
市職員	統合による地域の垣根を越えてのいじめが発生するかどうかは、これまでの統合校を見ていても発生するとは限りませんが、ケアする必要はあると考えています。成田星宮小学校の状態としては、統合して仲良くしているイメージがあります。男沼小・太田小・妻沼南小は、統合が近づいている中で３校合同でのイベントを実施し、交流する機会を設けています。長井小・秦小においても両校の情報連携や交流を盛んに行っていければと考えています。
市民	統合後もそれぞれの地域で活動を残してもらえることはありがたい。秦地区と長井地区の成り立ちは全く異なる地区である。聞いていると子供たちは統合後すぐに慣れていくと説明があった。秦と長井は違う地域という考えではなく、一緒の地域という考えを持つ必要があると思う。 　一つ心配なのは、文化の面。秦地区には「あばれ神輿（みこし）」がある。そういったものが統合後、秦と長井の文化が一緒になれるのかどうか心配だが、若い世代がクリアしてくれると思っている。
市民	統合直前の星宮小学校は、本採用の先生は出て行ってしまい臨時採用ばかりだったと聞いた。秦小学校の先生の配置などはどのように考えているのか？

市職員	絶対こうしますということは言い切れません。男沼小・太田小・妻沼南小の職員が妻沼西小に全員入れることはないと思いますが、教職員の勤務年数などを勘案しながら配置するので、不自然に臨時採用の先生が配置されるということはならないようにしていければと考えています。秦小学校が統合する際、多くの先生が臨時採用になってしまったということがないように努力します。
市民	統合１年前に子供が秦小学校に入学するが、統合前に教えてもらった内容と、統合後に教えてもらった内容で大きな違いが生じないようにしてほしい。授業で不安な面が出てきた場合には、長井小学校で授業のサポートはしてもらえるのか？
市職員	長井小学校と秦小学校も熊谷の学校なので両校で違う内容を教えるということはありません。教え方の部分は先生によって異なりますが、それで苦しむ部分があればケアをしていきたいと思っています。
市民	スクールバスの運行と関連して道路環境についてだが、秦地区の交差点で信号があるのは２か所のみ。２つの交差点では、右折レーンがない。秦地区も長井地区も歩道が狭い。秦小から長井小へスクールバスが通る場合、脇道からの見通しが大変悪い。大野地区から出る場合も環境が悪い。日向からも福川を渡る橋も急坂であり、上根地区もカクカクしていて対向車線などのすれ違いもよくできない。スクールバスを通すのであれば、通す前に道路環境をよくしてほしい。 また、スクールガードなどが立っているが、危険な場所には警察官や警備員なども立ってほしい。安全でスムーズな通行ができるように関係機関と協力して対処してほしい。 秦小と長井小の統合で家庭やお子さんに過度な負担がかからないように、対策をしっかりしてほしい。スクールバスで時間に間に合わない、体調が悪くて送迎など通学距離が長くなることで家庭の負担が重くなる。独り親の家庭や農家は、子供の送迎は時間的にも金銭的にも負担になると思うので、そういった面での対策をしっかりしてほしい。
市職員	通学方法については、通学部会を設けて学校の先生、地域の方、保護者の方に入っていただき、安全に関する通学内容や乗降場所の検討などを行っていく予定です。また、関係機関と連携し、どういう方法で対処していくかを検討、調整をしていきたいと考えています。学校が廃校となり学校環境が変化する児童の負担を少しでも減らすためにスクールバスを導入する面もありますので、児童のケアも含めて検討していきたいと思います。 スクールバスは、登校時間までに間に合うよう運行いたしますので、乗車時間に間に合わない場合は、今までのところですと、保護者の方が送迎することになります。

	今後、秦小学校のスクールバス内容については、検討していく段階で保護者の皆様の負担を少しでも軽減できればと考えています。
市民	私も小学校の時に転校した経験がある。その時に教え方が全然違うなぁ、といった印象を持ったことがある。孫の参観日に行ったとき、担任の先生の英語授業が全然分からなかった。次の時間に若い先生の英語授業が分かりやすかった。先生同士は授業の話し合いなどは行っているのか？
市職員	先生同士で授業をよくしようという話し合いは度々行っています。授業に関してこれが正しいということはない中で授業の研究を日々行っていますし、熊谷市全体でも授業の研究を行っています。保護者の皆様にも授業に関心を持っていただき、この先生のこの授業がよかったという声を頂きたいです。声を頂ければ、その先生の授業を他の先生が見に行き参考にすることができるので、御協力いただければと思います。
市民	４ページの将来推計のところだが、これまでも推計値は作成しているのか？作成しているのであれば、指をくわえて見ていたのかということ。自分も秦小学校出身で学び舎が廃校となるのは正直寂しいところはある。自分の家近くに８件ほど新築ができてすぐに入居者が入った。早く対策をすればよかったのでは？このままでは、統合しても児童数が減り再度統合になりかねないので、その点どう考えているのか？
市職員	４ページの統計ですが、毎年学校基本調査を行い、学校ごとの人数を把握しています。児童数が減っているのは、出生率が減少していることからも明らかで、担当外ではありますが、仕方がないことでもあると考えています。 令和４年度の出生は１，０３０人、死亡が２，５５１人で、１，５００人の減少となっています。人口が減少していくことは、地域の活動が失われるということでもあります。課題としては、２０歳代の女性の転出が多くなっています。人口減少は全国的な現象でもありますが、市としても新幹線通勤補助や子育て支援などの対策を行うなど、転出を抑制する施策を行っているところです。
市民	統合時に５年生になる娘がいる。体育着は引き続き使用でき、統合時に買い替えの必要がないということでよいか？ また、長井小学校の体育館を週に１回使っているが、網戸が付いていないので夜間の電気使用で虫がたくさん入ってくる。雨漏りもしている。建て替え工事なども検討できないのか？
市職員	それまでの体育着を使っていただいて大丈夫です。なお、標準の体育着を作成しますので、買い替えが必要となった場合に買っていただいても構いませ

	ん。他の学用品についても引き続き使用できるように検討していければと思います。 　体育館については、現状では建て替えの予定はありませんが、学校と相談させていただきながら改修などをしていければと思います。
市民	現在スクールガードリーダーを務めている。年に何回か交流事業を行うという説明をいただいている。今の１年と２年が長井小に通学することになると思うが、今の通学路に慣れ親しんでいる児童が統合後新しい通学路になり、スクールガードも新しい道を覚えなければいけない。通学路を早々に決めて交流会の際にそのルートを使って通学することができないか？
市職員	統合を進めることとなり、交流事業を実施する場合、当面の間、登校した後に秦小学校からバスに乗車して長井小学校に移動することになると考えています。 　また、通学部会を設置して、どこに乗降場所を設置して通学するかを決めることになりますが、地域の皆様の意見を頂きながら時間をかけて乗降場所の検討をすることになります。乗降場所が決定しましたら、各児童がどこに集合して乗車するのかが明らかになります。地域の方にも内容をフィードバックしてまいります。 ５　閉会 　本日、説明させていただきましたとおり、子供達の教育環境を第一に考えての統合でありますことを皆様に御理解いただきまして、これから統合に向けた準備を始めていきたいと考えています。 　その第一歩としてＰＴＡ役員さんや地域代表の皆様に、統合準備のための検討会への参加をお願いさせていただきますので、御理解・御協力をお願いいたします。 　また、本日頂いた御意見等につきましては、今後も検討してまいりますが、検討した結果を含めまして統合に係る情報につきましては、随時、皆様にお知らせしていきます。自治会長様、班長様には、引き続きお知らせの回覧等などに御協力をお願いいたします。 　以上で学校統合に関する地域説明会を終了します。 　本日は長時間にわたり御参加いただき、ありがとうございました。